

令和3年 第2回 大仙市議会定例会

市 政 報 告

令和3年5月25日

大仙市長 老 松 博 行

令和3年第2回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症への対応についてであります。

国内の新型コロナウイルス感染症の状況につきましては、全国的な新規感染者数の増加と感染力が強いとされる変異株の拡大により、大都市圏を中心に緊急事態宣言の発令が続いており、日本中が「第4波」の脅威に晒^{さら}されております。

秋田県におきましても、相次いで感染情報が報告され、県独自警戒レベルが3に引き上げられるとともに、大仙保健所管内においても依然として新規感染者が確認されるなど、厳しい状況が続いております。

市では、こうした状況を受け、緊急広報や市ホームページ、SNS等を通じて、市民の皆様に対し3密回避などの感染対策のさらなる実践や大人数での会食、不要不急の外出の自粛などを呼びかけるとともに、事業者の皆様に対しても感染防止対策の一層の強化についてお願いしているところであります。

また、市が開催に関わり、県外との往来を伴う大規模なイベント等につきましても関係団体の皆様とともに開催の可否について協議を進めており、7月に開催を予定していた「全国500歳野球大会」や、6月に延期開催を予定していた「大曲の花火 春の章」については中止を決定

しております。他の大規模イベント等につきましても、今後の感染拡大動向を見極めながら、開催の可否について検討を進めてまいります。

新型コロナワクチンにつきましては、65歳以上の高齢者の皆様に対し、4月19日付けで通知を発送し、事前の電話予約をお願いしていましたが、予約コールセンターへの電話が非常に混み合う事態を招いてしまったところであり、ご不便とご迷惑をお掛けしましたことに対し心からお詫びを申し上げたいと存じます。

市では、こうした事態を受け、直ちに予約体制の見直しを行い、年齢別・曜日別の予約制を設定したほか、コールセンターの電話回線の増設や予約受付時間の延長などの対策を講じたところであり、結果、その後は順調に予約受付が進み、昨日5月24日現在で23,853人、対象者の76.2パーセントの皆様が予約済みとなっております。

高齢者のワクチン接種の状況につきましては、5月9日から市内3会場で集団接種を実施しており、昨日5月24日現在で4,371人が1回目の接種を終え、概ね予定どおりの進捗となっております。今後も関係の皆様と緊密に連携を図りながら、国からのワクチン供給にあわせた最適な接種体制の構築に努め、希望するすべての皆様が7月末までにワクチン接種を受けられるよう全力で対応してまいります。

64歳以下の皆様へのワクチン接種につきましては、8月はじめの開始に向けて準備を進めており、6月中旬を目途に基礎疾患をお持ちの

方々から、年齢別に順次クーポン券を発送することとしております。
また、予約については電話予約のほか、インターネットによる24時間
受付も実施することとしており、できる限り円滑に予約が行えるよう
努めてまいります。なお、基礎疾患をお持ちの方の把握については、
市広報6月号に掲載する調査用紙やインターネットを通じて行うことと
しており、今後、市広報やホームページ等で周知を図ってまいります。

また、深刻な影響を受けている地域の産業や経済を守るための対策に
つきましても、引き続きスピード感を持って取り組んでおります。

4月の市議会臨時会において議決をいただいた経済対策のうち、売上
の減少が著しい卸・小売業や生活関連サービス業等の事業者に対し20
万円を給付する「経営再興支援事業」や、10万円を上限に支援する
「飲食店等感染予防対策支援事業」につきましては、4月26日から
申請の受付を開始しており、5月17日に1回目の交付を行っております。
また、市独自の中小企業の資金繰り対策として300万円を融資
限度額とし、利子及び保証料の全額を市が負担する「マル仙再興」資金
につきましては、5月20日現在で2件の融資を実行しております。

さらには、市独自の支援策として75歳以上の皆様へ3千円の地域
商品券を給付する「高齢者支援地域商品券給付事業」や、インセンティ
ブとして3千円の地域商品券を給付する「マイナンバーカード普及促進
事業」についても早期の実施に向け準備を進めているところであります。

このほか、国の支援策として一定の条件を満たすひとり親世帯に対し児童一人につき5万円を支給する「子育て世帯生活支援特別給付金支給事業」や、県の支援策として住民税非課税世帯並びに児童手当受給世帯の一部を対象に世帯員一人あたり1万円分の地域商品券を給付する「新型コロナウイルス対策生活応援事業」についても準備しているところであります。

今後も市民の皆様の「いのち」と「健康」を最優先にした感染防止対策に万全を期するとともに、市民の皆様の「雇用」と「暮らし」を守る地域経済対策に全力で取り組んでまいります。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

マイナポイントを活用した新たな給付システムの構築を目指して国が募集を行っていた「自治体マイナポイントモデル事業」に、この程、本市の提案が採択されております。今般の提案では結婚祝い金や出産祝い金、健幸まちづくりプロジェクトを対象とする事業の実施を予定しており、現在、総務省と協議を進めております。マイナンバーカードの申請率が4割を超える本市の優位性を活かし、デジタルガバメントの推進とキャッシュレス決済基盤の構築を進め、「大仙市DX推進ビジョン」に基づくデジタル変革の契機のひとつにしたいと考えております。

4月に執行された秋田県知事選挙につきましては、コロナ禍での初めての選挙となり、細心の注意を払いながらの対応となりましたが、大きなトラブルもなく無事終わっております。一方、投票率については、コロナの影響等を受け56.03パーセントと前回選挙から大きく低下したところであり、より安全で投票しやすい環境づくりが課題となったところでもあります。このような状況を踏まえ、9月執行予定の大仙市議会議員選挙では、投票所における感染症対策の徹底に加え、バス等を活用した「移動期日前投票所」を導入したいと考えており、今後、具体的な検討を進めてまいります。

次に、企画部関係についてであります。

移住・定住の促進につきましては、コロナ禍を契機に新しい働き方としてテレワークが普及し、地方移住への関心が高まっていることを踏まえ、テレワーク環境の整備を促進しております。4月21日には、国の「地方創生テレワーク交付金」の採択を受け、民間の主体的な取組を支援することとしており、県外に立地する企業などに勤めたまま地方に移住して地方で仕事をする「転職なき移住」を推進することで移住・定住者の増加と関係人口の拡大につなげてまいります。

また、地域おこし協力隊については、3月末で3名が退任し、4月から新たに採用した1名を含む3名で活動しております。移住者の視点か

ら見える魅力ある情報を発信するとともに、地域資源を活かしたお土産品の開発に取り組むなど、移住・定住の促進とシティプロモーションの強化に努めてまいります。

新型コロナウイルス対策の一環として生理用品の無償配布を行う「大仙こすもすプロジェクト」につきましては、昨日5月24日からスタートしております。コロナ禍の影響により困窮する方の経済的負担や心身のストレスの軽減を図るとともに、市内の小中学校や高校等と連携しながら児童生徒の安定した学校生活の確保につなげてまいります。

次に、健康福祉部関係についてであります。

障がい者支援につきましては、本市における相談支援の中核的な役割を担う機関として「大仙市基幹相談支援センター」を新たに設置し、4月から社会福祉法人 水交会により運営が始まっております。障がいをお持ちの方が地域社会の一員として自立した生活を送ることができるよう、必要な援助や情報提供などを行ってまいります。

母子保健につきましては、5月6日から新たに子育てに関するオンライン相談を開始しております。これは保健師や栄養士と顔を合わせながら自宅で相談ができるサービスで、コロナ禍にあっても安全に安心して利用できる相談機会の創出につながるものと考えております。

「日本一健幸なまち」を目指して市を挙げて取り組んでいる「健幸ま

ちづくりプロジェクト」につきましては、5月24日現在、200事業所3,467人を含む、14,692人の皆様から参加申込をいただいております。本プロジェクトでは、今年度から様々な分野との連携を図ることとしており、その一環として「国指定名勝 旧池田氏庭園」の入園料をプロジェクトで使用する活動量計の提示により無料にする取組を始めております。今後も多くの市民の皆様に参加いただけるようプロジェクトの周知を図るとともに、各種イベント等との連携を強化しながら参加拡大に資する取組を進めてまいります。

次に、農林部関係についてであります。

水田の春作業につきましては、今冬の大雪に伴う育苗施設被害の影響から作業の遅れが懸念されておりましたが、苗不足も生じることなく田植え作業が順調に進捗し、5月23日に盛期を迎えております。今後も生育が順調に進むよう、県や関係団体と連携を図りながら肥培管理の徹底を呼びかけてまいります。

「農業と食」活性化推進事業につきましては、スマート農業の推進に向け、東北農業研究センターとの連携のもと、水稻の直播栽培に水田管理システムを組み合わせた実証栽培に取り組んでおります。

また、大仙市産日本酒のブランド確立に向けた取組として、市内酒蔵の協力のもと、秋田大学の学生が日本酒づくりの工程を体験し、SNS

等を通じてその魅力を発信する活動を進めております。

さらに、農業法人や施設利用組合に対する生産機械等の導入支援や、農業分野における新たな起業に向けたビジネス塾の開講など、意欲のある経営者を応援するとともに、業務用や加工用等の需要にあわせた戦略的な米生産の推進など農業所得の向上に資する取組を県やJ A秋田おばこをはじめとする関係機関と連携を図りながら進めております。

次に、経済産業部関係についてであります。

ハローワーク大曲管内の3月に卒業した高校生の就職状況につきましては、卒業者883人のうち、県内就職者206人を含め、就職を希望する267人全員が就職しております。昨年度は、コロナ禍の影響から求人倍率の低下が懸念されておりましたが、前年同期と同じ2.59倍となったところであり、県内就職希望率は前年に比べ2.7ポイント、県平均よりも1.8ポイント高い77.2パーセントとなっており、過去10年間で最高の水準となっております。

地元への就職志向が高まっているこの機を捉え、地元経済団体への早期求人票提出に関する要請や、管内各高校への県内就職の促進に関する要請を行うとともに、進学希望者に対し地元企業情報を提供するなど、地元就職のメリットを積極的にPRし、若者の定着をより一層推進してまいります。

本市での創業を目指す皆様を応援する「創業支援事業」につきましては、昨年度において、県外からの移住者2名を含む14名に対し助成金を交付しており、過去最多の実績となっております。今後も関係機関との連携を図りながら、引き続き必要な支援を行い、地域経済の活性化と雇用の創出、市民の利便性向上に繋げてまいります。

新たな企業団地の整備につきましては、今冬の豪雪による工事の遅れが心配されておりましたが、雪解けが順調に進み、令和4年3月の完成に向けて概ね予定どおりの進捗状況となっております。

第2期造成につきましては、第1期造成分の売渡し状況やコロナ禍における企業の投資動向等を分析しながら実施時期を慎重に判断したいと考えており、今次定例会に事業着手の判断材料となる調査費について予算の補正をお願いしております。

次に、観光文化スポーツ部関係についてであります。

大曲駅西口へのエスカレーター増設につきましては、JR東日本秋田支社へ依頼し、8月上旬の完成に向け工事を進めております。5月20日現在の進捗率は42パーセントとなっており、順調に進捗しております。また、昨年度から進めている大仙市観光情報センター2階「インフォメーションホール」の改装につきましては、7月末の完成に向けて作業を進めており、利用者の利便性向上はもとより、県南の玄関口であ

る大曲駅の特性を活かした観光情報の発信強化や世代を超えた交流の場の創出など、観光交流拠点としての機能強化を図ってまいります。

観光振興につきましては、コロナ禍の影響に伴う観光PRや物販の機会の減少を受け、新たな日常に対応した取組として、PR動画の制作やネットショップの利用促進などを内容とする「観光・物産デジタルPR推進事業」の実施を予定しており、今次定例会に関連する予算の補正をお願いしております。

市所有の温泉施設につきましては、市が直営する「柵の湯」及び「中里温泉」両施設の利用促進を図るための新たな取組として、今般、共通使用できるスタンプカードや回数券、入浴フリーパス券を導入しております。また、今年2月に源泉ポンプが故障し、現在、沸かし湯による営業となっている「中里温泉」については、4月に実施した調査の結果を踏まえ、先般、源泉井戸の洗浄及び源泉ポンプの交換工事の発注を終えており、7月の温泉供給の再開に向けて準備を進めてまいります。今後も全ての温泉施設の利用促進に努めるとともに、各施設の経営状況や利用状況等を総合的に勘案しながら、健全な施設運営に向けた見直しを順次進めてまいります。

文化財の保護・活用につきましては、4月16日から29日までの間、太田文化プラザを会場に「鈴木空如筆 法隆寺金堂壁画展」を開催しております。今般の展示会には、コロナ禍にもかかわらず多くの皆様から

ご来場いただいております、あらためて空如作品の人気の高さを確認したところでもあります。今後も本市の貴重な文化財として保護に努めながら、一層の鑑賞機会の創出に取り組んでまいります。

スポーツの振興につきましては、スポーツを起点に健康や観光、文化などが融合したツーリズムを推進する新たな母体として、昨日5月24日に「大仙市スポーツツーリズムコミッション」を設立しております。設立総会では、スポーツ分野をはじめとする関係団体の皆様から参加をいただき、設立の趣旨や今後の活動方針等について賛同をいただいております。今後は、この団体を中心として、現在整備を進めている多目的人工芝グラウンドをはじめとする関連施設を拠点にスポーツツーリズムを一層推進してまいります。

次に、建設部関係についてであります。

国の社会資本整備総合交付金により実施する「橋りょうの長寿命化」に関する事業につきましては、今般、当初見込みを上回る交付金の配分があったことから、計画事業のさらなる進捗を図るため、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

「雄物川改修整備促進期成同盟会」並びに「国道13号大曲・秋田間整備促進期成同盟会」につきましては、5月10日に通常総会を開催し、今年度の事業計画等が承認されております。今後も重要な生活インフラ

である道路・河川双方の着実な課題の改善に向けて、関係機関に対し積極的な要望活動を行ってまいります。

次に、教育委員会事務局関係についてであります。

計画期間の最終年度を迎えている「大仙市生涯学習推進計画」につきましては、現在、県教育庁南教育事務所のご協力のもと、現行計画の検証を進めております。今後、関係部署で構成する庁内検討会議を立ち上げるとともに、関係機関から専門的な意見等をいただきながら、新しい時代に対応する「生涯学習社会」の構築を目指した新たな計画の策定を進めてまいります。

築40年以上が経過し老朽化が進む四ツ屋公民館につきましては、増加する施設の維持管理費への対応や耐震診断結果に基づく耐震補強対策など様々な課題が生じており、また、将来に向けたコミュニティづくりや地域防災活動の拠点として機能の強化が必要となっていることを踏まえ、施設の改築を計画しており、今次定例会に関連する予算の補正をお願いしております。

最後に、令和2年度の一般会計、特別会計及び企業会計の決算概況について申し上げます。

一般会計につきましては、全国民1人につき10万円を給付した特別

定額給付金のほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した感染拡大防止対策や緊急経済対策の事業実施などにより、過去最大の歳出決算規模となる見込みであります。

こうした中、実質収支額については、新型コロナウイルス感染症対策の関連事業に財政調整基金を充当したことに加え、地方消費税などの新たに追加された税目を対象とした減収補填債の発行、豪雪に対する特別交付税の増額などにより、一定の財源が確保されたほか、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から予定した多くの事業が中止や縮小を余儀なくされたことなどにより、約18億円の黒字決算となる見込みであります。

国民健康保険事業特別会計をはじめとする特別会計につきましては、全ての実質収支額がゼロまたは黒字であり、また、企業会計の収益的収支における純利益は、市立大曲病院事業会計で約5,700万円、水道事業会計で約1億4,000万円、簡易水道事業会計で約8,000万円、下水道事業会計で約6億円となる見込みであります。

以上、諸般の状況をご報告申し上げましたが、これまで申し上げましたもの以外については、別添のとおりご報告させていただきます。

今後とも、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、市政の報告とさせていただきます。

別添

令和3年第2回大仙市議会定例会
市政報告

市長報告以外の諸般の報告

令和3年5月25日

大 仙 市

目 次

【総務部】

- 1 行政事務の効率化及び全体最適化に関する連携協定について.. 1

【企画部】

- 2 全国広報コンクールについて 1

【健康福祉部】

- 3 「第2次健康大仙21計画」について 1
4 成人保健事業について 1
5 自殺予防対策について 1

【農林部】

- 6 大豆産地化推進事業について 2
7 園芸メガ団地のトマト栽培について 2
8 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業について 2
9 「サキホコレ」の先行作付けについて 2
10 鮭の稚魚放流について 2
11 クマの出没状況について 3

【観光文化スポーツ部】

- 12 東北デスティネーションキャンペーンについて 3

【建設部】

- 13 国、県関係事業について 3

【教育委員会事務局】

- 14 豊成小学校の開校式について 3

【上下水道局】

- 15 上水道事業について 4
16 簡易水道事業について 4
17 下水道事業について 4

【総務部】

1 行政事務の効率化及び全体最適化に関する連携協定について

市の行政事務の効率化と全体最適化を図ることを目的として、5月24日にコニカミノルタ株式会社とオンラインによる締結式を挙行了しました。式では、業務プロセスの可視化による課題の抽出や分析、その結果等を踏まえた業務の効率化に関する方策の検討等について連携・協力する内容の協定を締結しています。本協定を契機に、DXの推進と効率的な行政運営を図り、市民サービスの向上につなげていきます。

【企画部】

2 全国広報コンクールについて

全国の自治体の優れた広報紙やホームページなどを表彰する「全国広報コンクール」が開催されました。コンクールでは、本市の広報だいでん「だいでん日和」1月号の表紙写真が、広報写真一枚写真部門で県内初となる読売新聞社賞と入選1席のダブル受賞を果たしています。

【健康福祉部】

3 「第2次健康大仙21計画」について

平成28年度から令和7年度までを計画期間とする本計画については、策定から5年が経過し中間評価の時期となっていることから、現在、事業の検証等を行っています。今後、取組内容や目標指数等の見直しを行い、計画の改編に向け作業を進めていきます。

4 成人保健事業について

徹底した新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、各種健診を実施しています。今後、未受診者への勧奨案内等を行うなど受診率の向上に向けた取組を進め、疾病の早期発見・早期治療につなげていきます。

5 自殺予防対策について

教育委員会と連携を図り、「SOSの出し方に関する教育」推進事業として児童生徒向けの啓発用DVDを制作しました。このDVDの活用により、長期化するコロナ禍等で児童生徒が様々な困難やストレスに直面した際に、声をあげやすい環境づくりを推進するとともに、

その声を受け止める体制づくりに取り組んでいきます。

【農林部】

6 大豆産地化推進事業について

今年度の大豆栽培面積は、昨年度より37ヘクタール多い、1,283ヘクタールとなる見通しで、播種に向けた耕起作業が概ね終了しています。農業経営の安定化に向け、今後も関係機関と連携を図りながら収量の増加及び品質向上に向けた取組を進めていきます。

7 園芸メガ団地のトマト栽培について

6月下旬の初出荷に向け、4月28日から5月3日にかけて定植作業が行われました。

また、トマト栽培に加え、新たにネギの栽培にも取り組んでおり、高収益が見込まれる複数品目での取組が進められております。

8 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業について

実需者のニーズに応じた価格や品質への対応に必要な低コスト生産等に取り組む農業者を対象にした国の新しい制度です。作物ごとに定める取組面積に応じて10aあたり4万円を交付するもので、既に事業実施主体となる市農業再生協議会に対し、対象者1,605件分、およそ10億4千万円が配分されており、今後、事業実施計画に位置付けられた農業者に対し取組実績に応じた助成金が交付されます。

9 「サキホコレ」の先行作付けについて

秋田県新品種米「サキホコレ」は、一定の技術水準や要件を満たした生産者と集荷団体でつくる「生産団体」のみに栽培が認められており、令和4年度から本格的な栽培がはじまります。今年度は、先行作付け指定された県内各地で行われており、本市では、14の経営体が合計15haの圃場に作付けする予定となっています。

10 鮭の稚魚放流について

4月13日に新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、2回に分けて放流式を実施しました。当日は、花館、四ツ屋、内小友及び神岡の各小学校児童147人が参加し、玉川橋下流右岸において6万尾の放流を行っています。

また、鮭資源等確保活用事業により、式当日まで2,459千尾の

放流を行っており、鮭資源の安定的な確保に取り組んでいます。

11 クマの出没状況について

5月23日現在、市内で13件の目撃情報が寄せられています。今後、クマの活動が活発となることを見込まれることから、引き続き市民の皆さんに注意喚起を行うとともに必要な対策を講じて行きます。

【観光文化スポーツ部】

12 東北デスティネーションキャンペーンについて

4月1日から9月30日までの間、東北6県とJR6社が一体となり、大型の観光キャンペーンを実施しています。コロナ禍により当初計画と比べ規模を縮小しての実施ですが、本市ではJR大曲駅で乗降される方を対象に、横断幕を活用したPR活動等を行っています。

【建設部】

13 国、県関係事業について

○雄物川中流部河川改修事業について

雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業として、西仙北地域の強首地区及び寺館・大巻地区、協和地域の中村・芦沢地区及び岩瀬・湯野沢地区の築堤等工事を引き続き実施すると伺っています。また、西仙北地区の正手沢地区については、用地補償及び築堤等工事に着手する予定と伺っています。

○道路関係事業について

昨年度に引き続き、協和地域の国道46号稲沢地区の稲沢歩道整備事業や国道46号荒川地区の線形改良事業を実施すると伺っています。

○県関係事業について

淀川、土買川及び檜岡川に係る河川災害関連工事として、築堤等工事を引き続き実施すると伺っています。また、福部内川河川改修事業では、中良野橋橋梁架替工事に着手すると伺っています。

【教育委員会事務局】

14 豊成小学校の開校式について

5月1日に、豊川小学校と豊岡小学校が統合して誕生した豊成小学校の開校式を挙行了しました。式には児童や教職員など約150人が参

加し、新たな歴史の一步を踏み出しています。

【上下水道局】

15 上水道事業について

大曲西根地内で整備を進めている企業団地への配水管布設工事については、6月上旬の発注に向けて作業を進めております。

また、安定した水道水の供給に向け、引き続き、老朽化した配水管の改良工事を進めていきます。

16 簡易水道事業について

大曲地域の松倉地区及び内小友中山地区の水道未普及地域を解消するため、引き続き配水管拡張工事を進めていきます。

17 下水道事業について

農業集落排水処理施設の統合に向け管渠接続工事を進めている仙北地域の福田処理区、神岡東部処理区について、6月中旬に発注を予定しています。